

解説 1

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

- 文の構造を理解するためには、動詞のあとに何が続くのか(名詞、形容詞、副詞)を見極めることが大切。続くものによって文型が決まる(何も続かないこともある)。
- 本課では、目的語(O:必ず名詞)が続く〈第3文型〉と〈第4文型〉を扱う。
- 目的語のうち、「～を(主にも物)」と訳せるものを〈直接目的語〉といい、「～に(主に人)」と訳せるものを〈間接目的語〉という。

□ 第3文型(SVO):動詞が目的語をとる

□ I bought _(O) this watch. 「私はこの腕時計を買った。」

※名詞 this watch は、動詞 bought (buyの過去形)の目的語として働く。

cf. □ Birds fly in the sky. 「鳥は空を飛ぶ。」

(第1文型:SV)

※ in the sky は日本語では「空を」と訳せるが、これは目的語ではない。

【重要】前置詞が導く句で〈時〉や〈場所〉などを表すものは〈副詞句〉と判断する。

□ My daughter doesn't like _(O) green peppers.

「私の娘はピーマンが好きではない。」

※名詞 green pepper は、動詞 like の目的語。日本語の「～を」にこだわらないこと。

□ 第4文型(SVO₁O₂):動詞が間接目的語(O₁)と直接目的語(O₂)をとる□ I bought _(O₁) my wife _(O₂) this watch. 「私は妻に、この腕時計を買ってやった。」

※名詞 my wife (間接)と this watch (直接)はどちらも動詞 bought の目的語として働く。

【重要】このとき、my wife ≠ this watch である。

cf. □ I bought _(O) this watch for my wife. 「私は妻のために、この腕時計を買った。」

※上の文を言い換えたもの。for my wife は前置詞が導く副詞句(〈利益〉を表す)。

間接目的語が消え、第3文型になる。

A 演習1:基本問題 目的語を指摘し、さらに全体を日本語に訳しなさい。

例 I made Benji a dog house.

「私はベンジーに犬小屋を作ってやった。」

1. He usually skips breakfast.

「

2. She drove my son to school.

「

3. Get me something to drink, please.

「

4. The boy showed me his treasure. (treasure 「宝物」)

「

演習1:解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. breakfast 「彼はたいてい朝食を抜く。」 ※ breakfast は動詞 skip 「抜く」の目的語。SVOの第3文型。
2. my son 「彼女は私の息子を学校へ車で連れて行ってくれた。」 ※ drive O 「Oを車で連れて行く(連れてくる)」。to school は〈場所〉を表す副詞句。SVO。
3. me, something (to drink) 「何か飲み物をとってきて

- ください。」 ※ get O₁ O₂ 「O₁にO₂をとってくる」。to drink は名詞 something を修飾する形容詞的用法のto不定詞で、something to drink 全体で「何か飲み物」という意味の名詞句。
4. me, his treasure 「その少年は私に彼の宝物を見せてくれた。」 ※ show O₁ O₂ 「O₁にO₂を見せる」。

解説 2

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

□ 目的語が節の場合

□ He said ^(O)that he was responsible for the accident.

「彼は、その事故への責任は自分にあると (いうことを) 言った。」

(第3文型: SVO)

※ that 節は動詞 said の目的語。目的語なので名詞で、SV (主語 + 動詞) 構造を持つ名詞節。

□ She told ^(O1)me ^(O2)that she would stay home this weekend.

(第4文型: SVOO)

「彼女は私に、この週末は家にいるつもりだと (いうことを) 言った。」

※ (代) 名詞 me は間接目的語。直接目的語は that 節。

□ 【重要】 目的語を1つとるか2つとるかは動詞によるが、

同じ動詞であっても、1つとることもあれば、2つとることもある。

動詞を覚えるときは、意味だけでなく、目的語のとり方にも注意すること。

□ 第4文型 (SVOO) と第5文型 (SVOC) の見分け方

□ Please call ^(O1)me ^(O2)a taxi. 「私にタクシーを呼んでください。」

(第4文型: SVOO)

cf. □ Please call ^(O)me ^(C)Bill. 「私をビルと呼んでください。」

(第5文型: SVOC)

※上の文が、内容的に me ≠ a taxi となるのと比べ、下の文は me = Bill が成立する。

このとき、Bill は me を補足説明する〈補語 (C)〉になる。

目的語に続く名詞が目的語か補語かを見分けるには、

2つの名詞が内容的にイコールかどうかで判断する。

なお、* Please call me taxi. は「私をタクシーと呼んでください。」の意味になる。

B 演習 2 : 基本問題 目的語を指摘し、さらに全体を日本語に訳しなさい。

1. He thinks countries around the world have become more selfish recently.

「

」

2. I don't know how to use this machine.

「

」

3. You have left me no choice.

「

」

4. Tell me everything you know about this.

「

」

演習 2 : 解答・解説

英文は暗唱できるまで繰り返し音読すること。

1. countries around the world have become more selfish recently 「最近世界中の国がより利己的になってきていると彼は考えている。」 ※ countries 以降は that 節 (that は省略)。SVO。実際は that 節を目的語と意識する必要はなく、I think に続く内容に集中すればよい。
2. how to use this machine 「この機械の使い方がわからない。」 ※ 目的語は〈how to 不定詞〉「～のしかた」を表す名詞句。SVO。
3. me, no choice 「(あなたは私に選択肢を残していな

い→) あなたのせいで私に選択肢はない。」 ※ me は動詞 left (leave 「残す」の過去形) の間接目的語、no choice 「ない選択肢」は直接目的語。訳を工夫する。

4. me, everything you know about this 「このことについてあなたが知っていることすべてを私に話しなさい。」 ※ me は間接目的語。everything 以降は直接目的語で、everything 直後の関係代名詞 that (目的格) が省略されている形。you know の SV 構造を含むので名詞節。

年 組 番 氏名

実施日 年 月 日

A	/4
B	/4

検印